



Bonne Année!

令和2年が皆様にとりまして良い年でありますように

一般社団法人福島日仏協会 理事長 瀬谷俊雄

福島日仏協会・福島萩友会・福島シャンソンの会合同クリスマス会



福島日仏協会（理事長 瀬谷俊雄）、福島萩友会（会長 河田亨）、福島シャンソンの会（会長 茂木甚吉）の合同クリスマス会は、12月17日ザ・セレクトン福島で出席者52名で開催された。

瀬谷理事長が「何かと慌ただしい1年でした。本日は合同クリスマス会で萩友会、シャンソン関係のご婦人方の皆様と華やかな会になるでしょう。我々身体が第一であります。私は最近『即位礼正殿の儀饗宴』と数日後の『祝宴』に続けて招待されましたが、終始立ち席で年のいった身にはこたえる祝宴でした。12月26日には両陛下の本宮市御訪問があり、皇后が寄り添っての行幸啓は望ましいことです。」と挨拶された。



ミニコンサートでは茂木甚吉さん、神尾ミエさん（新ジャンル曲も）が日頃鍛錬されている豊かな美声を次々と披露された。引き続き懇親会に入り、河田萩友会会長の挨拶、矢森真人福島民報社副社長のお洒落な乾杯ご発声によりなごやかな雰囲気でのクリスマス会の楽しい時間を過ごした。中締めの前に瀬谷理事長から「石川専務理事は体調が思わしくなく事務局長を退任されたが、10月に役員有志でご夫妻を招いて大きい花束を贈り慰労の食事会を開きました。」と参加者に説明された。

菅野輝栄理事長が、令和2年放送NHK朝ドラ古関裕而夫妻の「エール」開始で福島地区の盛り上がりをお願い、一本締めに先導され、皆で力強く締めて終了した。



～ミニコンサートプログラム～

ラストダンスは私と	(茂木甚吉)
恋心	(茂木甚吉)
とまどい	(神尾ミエ)
サイド・バイ・サイド	(神尾ミエ)
めぐり逢い紡いで	(茂木甚吉)
君を愛す	(茂木甚吉)
もう一度	(神尾ミエ)
生きる	(神尾ミエ)
ケ・サラ	(全員で)



日本・ハンガリー外交150周年記念

「ブダペスト—ヨーロッパとハンガリーの美術400年」開催中

会期 2019年12月4日（水）—2020年3月16日（月）

会場 国立新美術館 企画展示室1E（東京・六本木）

主催 国立新美術館、駐日ハンガリー大使館 他

ブダペスト(美の都)から400年間受け継ぎの名品130点が展示されています。日本人が「ハンガリー人になった気持で」鑑賞できる作品を、400年に渡る歴史と文化の流れを旅するように見てほしいそうです。鑑賞者を幸せな気持ちにする優しい作品、ルネッサンスから20世紀初頭まで、王国時代から革命・独立、社会主義を経て第三共和国の今(NATO、EU加盟)安定国。

私のフランス語日記《留学体験記》

Bonjour je m'appelle Miu. Je suis en terminale. J'étais en France pendant un an, il y a deux ans. Aujourd'hui je parle de mon séjour en France.

J'avais habité à Evian, à l'est de la France. J'étais avec ma famille d'accueil et j'ai étudié au lycée. J'ai rencontré un ami chilien là-bas. Il s'appelle Juan. Il était venu en France comme moi. J'étais étonnée qu'il parle super bien français alors qu'il a commencé à l'apprendre en même temps que moi. Sa langue maternelle est l'espagnol qui est assez similaire au français donc il s'est vite amélioré. Je savais que les langues européennes sont proche et que l'espagnol est parlé en Chili. Mais c'est à ce moment-là que toutes les choses que j'avais apprises ont pris du



ベルギーのブルージュにて
留学生仲間と

sens. C'est comme si les éléments des manuels scolaires en étaient sortis pour devenir réalité. Il a donné beaucoup de nouveaux points de vue. La France vue par les chiliens et la France vue par les japonais étaient différents. J'étais surprise que le train français soit en retard souvent ou qu'il y a beaucoup de vacances en France. Cependant pour Juan les français sont ponctuels et il trouve qu'une journée qui se termine à 16h est longue. Comme le monde est grand! Je me suis rendue compte que le monde est rempli de personnes ayant des ressentis différents. J'ai appris la France, le Japon par les français et la France par les chiliens.

Pour moi ce séjour en France n'a pas seulement le voyage en France. Il a donné envie d'apprendre le monde et les différentes culture qui y existent. Je pense que cet expérience me changera. Merci.

Miu Akagi

こんにちは、赤城みうと申します。高校3年生です。私は、高校2年生の時にフランスへ1年間留学をしました。今日はその時のことを書きたいと思います。

私が住んでいたのは、フランスの東の端にあるエビアンという町です。そこでホストファミリーと1年間過ごしました。普段は地元の高校に通い、バカンスになるといろいろなところに行きました。印象的だったのがフランスで出会ったチリ人の友達のことです。

彼の名前は、ヨワンです。ヨワンも私と同じようにフランスに1年間留学に来ていて、留学生同士息が合ったので一緒に旅をしました。まず私はヨワンのフランス語が流暢なのに驚きました。フランス語を始めたのは私と同じです。しかし彼の母国語はスペイン語で、フランス語と近い言語であるために上達が早かったのです。ヨーロッパ言語は系統ごとによく似ていることや、南米ではスペイン語が話されていることは学校で習っていました。でもこの時初めて、これらの事実が私にとって教科書の中の世界から飛び出してきた気がしました。ヨワンは私にたくさんの新しい視点を与えてくれました。同じ

留学生でも、チリ人が見るフランスと、日本人が見るフランスはかなり違っていました。私は、フランスの電車が平気で20分遅延することや、びっくりするくらいのバカンスの長さに日本との違いを感じて新鮮な気持ちでいました。でもヨワンにとっては、フランス人は時間に厳しく、学校が平日16:00までであるのは長すぎるように思いました。世界はなんて広いんだろうと思いました。私は、フランスに留学しチリ人の友達ができたことで、フランスという国を知っただけでなく、フランスから見えている日本、そしてチリという第三の視点を得ることができました。

私にとってこの留学は、ただフランスという国に留学した以上の意味を持ちます。フランスをもっと知りたい、そのほかの場所も知りたいと思うようになりました。世界が前よりも広がったと思います。そしてまだ私の知らない世界があることを教えてくれました。きっとこの経験がこれからも私を動かし続けると思います。

会話教室受講生 赤城みう

次回は小倉貴美子さん、お願いします！

久美子の歳時記～Jadore_lesgateaux (8)

今日は日差しは暖かですが、風が冷たくていよいよ冬も本番だなと感じる頃となりました。そうそう、チョコレートのお菓子が恋しい季節です。チョコレートのケーキと言えば、ガトーショコラ。チョコレートケーキは世界中で作られています、このフランス語の響きが何とも素敵。今回は軽いけど濃厚でチョコレートのうまみを楽しめる、生チョコレートのようなフランスらしいガトーショコラを目指します。



<Gâteau au chocolat>

○材料 (15センチ丸型)

- ① 製菓用チョコレート 100g
無塩バター 55g
生クリーム 30cc
- ② 卵黄 Mサイズ 2個
グラニュー糖 30g
- ③ 薄力粉 15g
ココア 30g
(いっしょにふるっておく)
- ④ 卵白 Mサイズ 2個
グラニュー糖 40g
- ⑤ ブランデー 大1

○作り方

下準備として型に紙をひき、オーブンを170℃に予熱する。

- 1 材料①を合わせて湯煎にかけ、50℃ぐらいに保温する。
- 2 材料②を白っぽくなるまで空気を含むように混ぜる。
- 3 材料④でゆるめのメレンゲを立てる。
- 4 ①に②を混ぜ、ふるった③を入れ混ぜる。
さらに④を2回に分け混ぜる。混ぜすぎに注意。
さらにブランデーを混ぜる。
- 5 予熱したオーブンで25分ぐらい焼く。
焼けたら型から出して荒熱をとる。

※生クリームや酸味のあるジャムを添えて頂くのがおすすめです。

(料理教室受講生 本田久美子)

ワインとベーカリーカフェを融合したお店 **midi**(ミディ)

娘の長年の夢だったベーカリーカフェを併設したワインブティックを昨年12月にオープンしました。「人生に彩りを Color Your Life」がコンセプトです。

『お薦めのワイン』

スイス品種シャスラから造られる白ワインです。ミネラル感あるすっきりとした酸と上品なコクが特徴です。東京五輪では福島市がスイスチームのホストタウンになりますので、これを機に飲んでみてはいかがでしょうか。

『お薦めの日本酒』

昨年パリに醸造所を開設してパリの米を原料に仕込みを始めた蔵元 WAKAZE です。WAKAZE は東京三軒茶屋に醸造所があり、日本酒をワインの樽で熟成させたり、ボタニカルな原料を漬け込んで風味を出したりと、ワイン感覚で飲める現代風の SAKE 造りを行っています。

その他、店内有料試飲カウンターでは、珍しいワイン・日本酒を体験できます。

『ベーカリーは店内の厨房ですべての作業を行い、焼き立ての美味しいパンを揃えています』

本格的なハード系パン、お子様からご年配の方まで好まれるパンを常時20種類以上がケースに並んでいます。

カフェはテーブル24席、カウンター12席。おすすめはミディオリジナルブレンドコーヒー、まろやかな酸味と苦みをお楽しみ下さい。

ランチは3種類で、スープランチが人気。食後のコーヒーとデザート付きです。ディナータイムは17時から。ワインショップで購入したワインをカフェに持込みもOK(持込み料あり)。アミューズセットでお好みワインディナーをどうぞ。ソムリエがご説明いたします。



ワインブティック&ベーカリーカフェミディ
福島市太田町15-12 ☎024-572-5226
営業時間 10:00~22:00
ベーカリー19:00迄

(会員 追分富子)

事務局がこの原稿を頂きにお店に入ったのは月曜日の13時、店内満席のランチ客とパン購入お客様で盛況でした。福島市に新形態の融合店舗が誕生しました。駐車場も20台可なので、日中の会合や軽食にも適していると感じました。

調布に住む娘からのスクラップ

娘から 9 月から 11 月までのスクラップ（毎日新聞朝夕刊）が買い物袋に一杯にして送られてきた。パート勤務の傍ら自ら読んでスクラップするのだから大変な労力だ。ラグビー・ワールドカップが終わり大会のものが結構多い。

1. 現地語で国歌斉唱に感激

ラグビー・ワールドカップ日本大会の会場で、開催地の市民らが英語やスペイン語など現地の言葉で選手と一緒に国歌を歌った。選手たちは「嬉しいサプライズ」「本当に力をもらった」と、日本流のおもてなしに世界中で感動を呼んだ。岩手鶴住居（うのすまい）復興スタジアムで行われたウルグアイ対フィジー戦では、ピッチに選手とともに入場する「マスコットキッズ」を務めた 8 歳の少年が覚えてたのスペイン語と一緒に国歌を歌い上げた。ガミナラ主将が嬉しそうに頭をなでている写真が公式ツイッターで紹介され話題になった。



ムで行われたウルグアイ対フィジー戦では、ピッチに選手とともに入場する「マスコットキッズ」を務めた 8 歳の少年が覚えてたのスペイン語と一緒に国歌を歌い上げた。ガミナラ主将が嬉しそうに頭をなでている写真が公式ツイッターで紹介され話題になった。

2. ラグビーボールはなぜ楕円なの？

豚のぼうこうが原形、安全性考えゴム袋に

イングランドのパブリックスクール・ラグビー校がある地元ではボール産業が盛んで、1820 年ごろ、靴職人のウィリアム・ギルバートさんが作っていたボールはスモモに似た形だった。商売敵のリチャード・リンドンさんが耐久性の強いものを目指し、縦長で弾力性のある豚のぼうこうを膨らませ、それを牛の革で包んだボールを作った。これが楕円形の原形となった。一時はそれが流行ったが、リンドンさんの妻が豚のぼうこうに口で空気を入れて膨らませる作業で感染症にかかり死んでしまった。リンドンさんは安全性を考え、ゴム袋に切り替え、空気も道具を使って入れるようにした。均一な形のボールができ、イングランドでは 1892 年、楕円球が正式なボールに決定した。その後、改良が進み、現在はよりスリムな流線型に。

3. おんどの騒音認めず フランス隣人トラブル訴訟

フランス西部オレロン島に別荘を購入した夫婦が、隣人のおんどのりが早朝に鳴くので、おんどのりを別の場所に移せと訴訟になった。訴えでは午前 4 時から鳴くとあったが、裁判所の実地調査の結果、鳴いたのは 6 時 30 分から 7 時で声もあまり大きくないと確認した。話し合いによる解決の可能性を探らず、不当に提訴したとして逆に夫婦に賠償金 1000 ユーロ(120,000 円)を飼い主へ支払うよう命じた。フランスのおんどのりの騒ぎは古くからこの地区の農村に頻発に起きていたが、この地区に長く住む人々と新たな住民との争いがこれでやっと落ち着くのではと飼い主の方々は喜んでいる。

4. 星の王子さまとキツネ 直筆発見

サンテグジュペリの便箋に



フランスの作家、サンテグジュペリが小説「星の王子さま」用に自ら描いた挿絵のスケッチが、スイスで新たに見つかった。北部チューリヒ近郊ウィンタートゥールの「文化芸術歴史財団(SKKG)」によると、昨年死亡した財団創設者の男性の遺品を整理していた際、航空使用の薄い紙の便箋に、インクと水彩絵の具で描かれたスケッチを見つけた。スケッチは「ビックリするほど良い状態で保存されていたという。

5. 映画の紹介 2 点

「今さら言えない小さな秘密」

南フランスのとある村に暮らすタビュランは、腕の良い自転車修理工として、さらに子供の頃に自転車で空中回転を成し遂げた天才として、村の人々から尊敬されている。実は彼は、補助輪なしでは自転車に乗れず、それを大人になるまで誰にも打ち明けられずにいた……

協会鑑賞会に良いと思った 1 点。もうひとつは

「人生、ただいま修行中」

パリ郊外の看護学校の日常を追ったドキュメンタリー映画。「音のない世界で」で聴覚障害の人々に、「ぼくの好きな先生」では小学校の教師に密着したフィリベール監督が今回、看護師の卵に焦点を当てた。

石川一十三（理事）

